



## 浅江中らしい生徒総会

一昨日の5、6時間目、令和3年度の生徒総会が開催されました。昨年度は、学年別に体育館で開催しましたが、本年度は、「もっと積極的な意見交換ができるように」との考えから1～3年生が参集する形での開催としました。ただ、現在も新型コロナウイルスの感染状況については、『レベル2、ステージ2』の状況ですので、感染予防対策として、全校生徒を体育館と武道場の2会場に分け、密を避けての開催となりました。

### 【浅江中生徒の素晴らしさ①】

意見交換を活発にするために、議事進行も別々にしました。両会場の議事を独立させたことで、提案者や議長、司会、マイクランに至るまで、2会場分の人員が必要となります。実際両会場合わせると、30名以上の生徒が大活躍していました。



体育館



武道場

⇒ 浅江中にはたくさんの人材がいます！

### 【浅江中生徒の素晴らしさ②】

両会場の議事では、多くの生徒が自分の意見を発表していました。武道場だけでも、発表者は20名を超え、意見を伝えようと挙手をした生徒は、のべ150名を超えていました。体育館の会場とあわせると、相当数の生徒が意見を述べたり、述べようとしていたりしたことになります。また、議事の中では、「周囲で話し合う」場面が何度かありました。そのような状況では、しっかりと周囲と意見交換をする光景が見られました。



⇒ 浅江中には、自分の意見を発表したり、課題について仲間と話し合ったりできる生徒がたくさんいます！

### 【浅江中生徒の素晴らしさ③】

自分の意見を発表する生徒が多いのが浅江中生徒の素晴らしさのひとつですが、その意見をしっかりと聞こえようとする大勢の生徒がいてはじめて成り立つ素晴らしさです。発表者を冷やかしたり、無関心になったりすることなく、発表者が安心して発表できる雰囲気全体を醸し出しています。⇒ 浅江中には、他者の発表をしっかりと受け止めることができる生徒がたくさんいます！



### 【浅江中生徒の素晴らしさ④】

この度の総会ではタブレットをフル活用しました。体育館と武道場の意見は、「MetaMoJi Classroom」を活用することで、両会場の意見がどうなっているかを参加者全員で確認することができました（操作も生徒が行っています）。またアンケートについてもタブレットで回答することで、両会場の集計結果を即共有しました。



⇒ 浅江中の生徒は、タブレット利用、活用のスキルを身に付けています！

この他、当日に至るまで、各学級の学級委員が中心となり模擬生徒総会を実施したり、生徒会で幾度となくリハーサルを実施したり、万全の準備がなされていました。生徒総会に至るまでのことや、総会当日の詳細については、ぜひお子さんからお聞きください。